

令和4年度 西砂学習館運営協議会（令和5年2月）会議録（案）

日 時：令和5年2月9日（木）午後6時00分～午後8時40分 （敬称略）
出 席：大橋 加藤 内金崎 小笠原 長谷川 岩元 能村 小林 森 増田 広瀬
欠 席：無し
事務局：石川 田中 俣本

1 開会のあいさつ

大橋：明日は東京でも雪の警報がでている。十分気を付けたい。2月8日SORANO HOTELで王将戦の前夜祭を行っていた。2月と3月の地運協では令和4年度の振り返りと令和5年度の方角性について話をしたい。

2 令和4年度地域活性化講座について

（1）「認知症予防講座」について

日 時 3月4日（土）午前10時～11時30分
講 師 北部西かみすな地域包括支援センターの皆様及び岩元 喜代子 氏
内 容 前回と同様
申 込 （一般の方）2月10日（金）より「西一元氣通信を見た」と言えば先行予約あり
【参加予定の委員】大橋 内金崎 岩元 能村 森 増田（スタッフ集合時間9：45）
石川：西一元氣通信をご覧の方は優先的に申込み可能とした。現在2名の申込みがある。

（2）「にしすな親子塾〈第7弾〉」

- ・開催日時 6月頃？
- ・講座の内容
- ・その他注意点

石川：親子塾が年度に1回の開催になっている。5月は学習館まつりがあるので6月頃に1回目が出来たら良い。内容は次回の会議までに案を出して頂きたい。

小笠原：児童館としては日曜日の開催が良い。6月は行事が少ない時期なので実施可能。

子ども委員会の関係で6月18日か6月25日の日曜日をお願いしたい。

大橋：内容はこれから考えていく。

（3）来年度に向けて

- ・講座の柱について（参考：令和4年度）
 - ① 地域の居場所作り
 - ② 地域の発見
 - ③ 新しい住民の地域デビュー

④ その他（防災・認知症講座 等）

・講座の対象について（参考：令和4年度）

- ① 子ども向け
- ② 保護者対象
- ③ 大人向け

石川：柱と対象はころころ変えるべきではないと思うので継続で良いか。

大橋：柱と対象は講座計画のベースになっている。

能村：自分が住む地域では前から住んでいる方と新住民の繋がりが中々できていない。どう繋げるか問題になっている。コロナで地元のお祭りも無くお互い顔を合わせる機会もないので、繋げられる行事の検討をしている。前から住んでいる方は70代から80代で新しい方は40代前後と間の世代が無い。③の新しい住民の地域デビューはどこの自治会でも問題になっていると感じている。

大橋：この地域は新しい住民が来る。

広瀬：地域福祉課と交通対策課が開催している「西砂町地域懇談会」に参加。前から住んでいる住民と新住民の繋がりはこの地域の大きなテーマで上がっていた。

大橋：地域の大きな課題であることは確か。課題を解決していく為の企画内容を検討するのも地運協の役割。回数が限られた活動なので十分救うことはできないかもしれないが企画をすることは重要。

内金崎：30年以上もお住まいの方も前から住んでいる方と交流が無かったとお話があり意外であった。能村委員がお話した地域の課題は西砂全域での課題。

岩元：自分が小さかった頃は近所で助け合うのが当たり前だった。その辺を忘れてきてしまったのか、切り捨ててきてしまったのか。取り戻せたら良い。

大橋：豊泉さんが、昔は近所の家の庭を気軽に通ることができたが今は塀がありチャイムを鳴らさないと入れなくなった。それと同時に人の心にも鍵が掛かってしまったようにお話をしてくれた。災害が起きた時は日頃のコミュニティ作りが一番重要。オープンマインドでのやり取りが解決できる糸口かなと思う。

広瀬：この地域に50年住んでいる。西砂と砂川には歴史的背景がある。古くからいる方は開拓時代からいて終戦後農地解放があり、この地域の地主は最初から持っていた農地をその時にだいぶ手放した。それが古くからいる方は農地を取られてしまったという被害意識がある。今はその世代が殆どいなくなりその感覚がなくなってきた。農家同士は決して仲良しではなくライバル同士。以前この地運協の会長だった大村先生はアメリカでは新しい人が来ると長老が皆への挨拶方法を教えてくれ気持ちよく受け入れてもらっている。前からいる住民が受け入れなければとよくお話をしていた。

増田：身近なことで2点ある。シルバーの活動で子どもの下校時の見守りを行っている。この頃小学生に声を掛けても全く反応が無いことがある。朝散歩の時に声を掛ける

と反応はある。住んでいるマンションで住民の方からトイレの電球を変えて欲しいと要望があり交換をした。その方は電球をご自身で変えることができずに3週間暗いトイレを使っていた。同じマンション内でそのような方がいた。挨拶プラス一言が大事。お互いが何かの時に声を掛けられるきっかけになる講座が開催できたらとても良い。関係も変わっていく。

加藤：この地域に来て25年経つ。新しい住民の方と挨拶はしても顔が分からない。近所の方と何かを一緒にやることがない。一緒に何かをするイベントが必要と思った。

岩元：生涯学習審議会では学社一体がテーマ。古い住民、新しい住民関係無く子ども達の成長の為に大人達の協力があれば大人も生きがいに繋がるのではと思う。このような取り組みが講座の柱でできたら良い。

大橋：大きい問題である。意図的に企画し少しずつ地域が変わるのかと思う。次年度の計画の際にそこはぶれないで生かしていきたい。

石川：令和5年度もこの柱と対象で進めていく。

・具体的な講座内容について（確認）

- 西砂サマーイベント～火曜日は学習館に行こう！～
- 西砂ウインターイベント～冬休みも学習館に行こう！～
- にしすな親子塾（年度中に2回開催）
- 地元を学ぼう
 - ⇒ 講師：豊泉喜一氏の続編でOK？
- 西砂川での災害を考える
 - ⇒ 来年度も西砂町・一番町の自治会関係者を対象とするか？
- 認知症予防講座
 - 大まかな内容は例年と同様で良いか？
- 西砂産業まつり
 - 今年度の検討内容：開催の目的や構想を考える。
 - 立川工業会へのアプローチを考える。
- その他 新規に実施したい講座
- パパ・ママの西砂デビュー

今まで通り、「にしすな親子塾」で兼ねることで良いか？

大橋：3月に意見を聞かせて頂きたい。次年度も続けるか、あるいは違う講座にするか。

広瀬：自分が高齢者になったせいか高齢者対象が気になる。高齢者向けの講座が少ない。他団体が高齢者向けを多くやるのでやらなくても良いのかもしれないが、地運協としては認知症予防講座しかない。認知症予防講座は年に2回実施しても良いと思う。高齢者も交流が大事。

石川：学習館6館あるが西砂学習館だけ多文化共生の講座をやっていない。

加藤：地元を学ぼうの講座は豊泉さんに是非やってもらいたい。この地域は農業、酪農、養豚、養鶏がある。数年前は農家を巡る講座を行った。それには新しい住民の方がお子さん連れで参加し収穫を行った。農家関係の巡る「地元を学ぼう」を行っても良い。

大槁：地域を知る部分でフィールドワークはどうかとのこと。工業会は面白い切り口があればと思うがまだ見つからない。産業まつりとドッキングして地域を知る活動になると良い。

加藤：子どもの居場所づくり、高齢者の居場所づくり。この二つの交流があると良い、それぞれの居場所を作ったうえで交流できたら良い。

・その他の活動について

○ フリースペース・にしすな

○ 子どもの居場所づくり

大槁：前回会議で夜7時過ぎまで子どもがコンビニにいと話が合った。その子ども達の居場所づくりやフリースペースはどうするか。地運協が抱えるのは難しい。

小笠原：すぐに解決できる問題ではない。立ち上げた頃と情勢が変わっている。1年位時間をかけて、求められているものを地運協として立ち上げるのが良いのでは。

大槁：フリースペースを真剣に考えると学校や諸団体を巻き込まないとできない。安易に答えは出てこない。今の子ども達の状況が全く分からない。情報を集めてからでないと難しい。地域で子どもを支え育てる地域社会を作ろうという思いは同じ。何が出来るかについては時間をかけて見つけたい。子どもの学習支援としてこのスペースが使われるが何が狙いなのか。ニコニコサロンが行っている学習支援について詳細を知らない。情報を知り地運協が立ち上げるのか、そこに入っていくのか。

広瀬：前回欠席し会議録を読んだ。フリースペースは不登校の問題、食事の問題があり始めた。他では全然やっていない時だった。しばらく活動しているうちに人手が足りなくなり児童館に移動した。児童館に移動してからは委員としては小林委員と大槁会長にお任せし殆ど協力ができなかった。前回の会議でフリースペースは児童館にとって非常にありがたかったとお話があった。ここで変えなければいけないタイミングなのだと思う。今までの活動を評価しこの辺で変えなければと思う。

大槁：変化してきていることは確か。十分検討が必要。

○ 西砂地区文化会の事業の体験

大槁：西砂の文化を学べる機会でもある。体験できたらありがたい。

・まつりへの参加

○ 西砂学習館まつりへの参加（展示・実行委員会の出席）

大槁：地運協の活動を多くの人に知って頂けたらという思いで参加。何か新しい提案もあ

ればできるものもあるので3月にお聞きする。

3 協議、報告及び連絡事項

(1) 前回の議事内容の確認（議事録）

大槁：何かあれば事務局へ。

(2) 「第3回西砂川地区地域学校コーディネーター及び西砂学習館地域運営協議会委員の情報・意見交換会」について

- ・日 時 令和5年3月10日（金）午後6時00分～8時00分【敬称略】
- ・参加者 地域学校コーディネーター：岩元 荒井 松澤（3名より参加の連絡）
- ・参加予定の委員：大槁 内金崎 長谷川 小笠原 岩元 能村 加藤 森 広瀬
（スタッフ集合時間 17：45）

岩元：七中運営協議会会長の小松さんが立川市の統括コーディネーターに任命された。小平市で20年位前から学校と地域の活動をしていたという実績が認められてのこと。意見交換会では小松さんに事例をお聞きする内容も良いと思う。七中の学校公開日に小松さんとお話をした。学校が助かる内容で地域がサポートできるリストを作成できたと思う。

大槁：去年までは学校からの指示を待つ状態だった。福生市では学校に地域学校コーディネーターの席があることで地域学校コーディネーターが自らできることを見つけ、子ども達の学びをより豊かにしている。新宿の地域学校コーディネーターは統括指導主事から学校教育についてレクチャーがあり学ぶ機会がある。小松さんからのお話も新たなスタートの一步になる。

加藤：地域学校コーディネーターの動きが良く分からない。立川市の状況を委員が知ることでも大事。知るうえで次の段階の話にもなる。

大槁：西一元氣通信に地域学校コーディネーターを地域に知ってもらう為に掲載した。

岩元：この地域にたくさんいる高齢者は色々な知識がある。そのような方が色々な分野で活躍する地域ができるのが生涯学習、学社一体となり高齢者対策にもなる、子ども達を通して好循環ができたかと考えている。

(3) 西砂学習館中規模改修工事について（報告）

- ・設計会社の作成した工程表

⇒ 施設が使用できない期間が生じます

石川：6月から徐々に始まる。

大槁：サマーイベントも含めて3月に話を進めたい。

(4) 砂川学習館の建替工事について（報告）

- ・令和5年7月に西砂学習館に砂川学習館の職員が引っ越してきます
- ・砂川学習館利用団体が他の学習館を利用ようになる（2年間）

（5）「子どもの学習支援事業」の開始について（報告）

- ・毎週木曜日午後3時～8時まで生活福祉課の事業で生活保護世帯の子ども対象

石川：今まで幸学習館で実施されている既にある事業。椅子は変更する。対象の子どもについては西砂ルールを作って頂くと良いと思う。

大橋：大人の目のある形で学習支援ができるとのこと。2極化が進まないように学校でも放課後補習教室が始まる。

岩元：地域未来塾は既に始まっている。

大橋：学習支援が充実してきている。

（6）松中小学校の児童の硬筆と習字の展示について（報告）

石川：松中小学校校長から直接依頼があった。次は図工の作品展示を予定している。

大橋：西砂学習館が発表の場になれば良いと話していたので良かった。場所を色々な形で使って頂けるとありがたい。図工の作品など内容が広がることもありがたい。

（7）フリースペースについて（協議）

大橋：今後も考えていこうという確認を前回行った。

（8）各委員から報告及び連絡事項（報告）

加藤：西砂学習館での来年度の講座はクラシック入門講座、パソコン関係の講座、交流クッキングは例年通り実施したい。プラス新しいものを検討している

広瀬：上砂会館の場所取りを行った。2月1日は人がたくさん来ていてすごかった。教育フォーラムに参加。第1小学校の講堂で行った。人が少なく勿体無かった。

内金崎：3月2日子ども地域懇談会を開催。砂川学習館の建て替えて、砂川学習館の利用団体が、高齢化が進み場所を移しての活動が難しく解散する団体もある。また、抽選に外れる団体はモチベーションが下がり活動が少なくなる危惧がある。動向を注視する必要があると思う。

小笠原：児童館は3月に向けて動きが活発になってきている。2月25日は学童説明会、3月4日は初めて学童の子ども達と保護者対象に野山北公園へ遠足に行く。3月7日地域交流会を3年ぶりに行う。子どもの夜間の居場所と地域住民にとって子どもの声の騒音問題についてご意見を頂く場にしたい。児童館運営協議会を発足予定。準備を進めている。3月は子ども祭りの開催が決定。西砂児童館で人事異動があり何人かが異動対象になった。労協法が制定されNPO法人ワーカーズコープの名前が変更になる。

- 長谷川：明日 2 月 9 日青少健の研修会で川崎市こども夢パークに視察に行く。2 月 15 日役員会が西砂学習館である。大橋先生、石川係長に来て頂く。2 月 21 日に松中小 5 年生が麦踏みを行う。拡充型放課後子ども教室がスタートし 1 年が経つ。地域と何かをしようということで花壇づくりを行う。1 年間通してお花が咲くようにしたい。
- 岩元：西砂川地区文化会の役員を辞退した。1 月 29 日に実施したうどん作り大会に対して 1 役員として責任を負えないのが実感だった為、うどん作り実施の 10 日前に辞任届を提出した。ここの地運協には生涯学習審議会一員、地域学校コーディネーターとして参加。地域の文化を興隆させていくことができないかと思っていたが何もできないまま辞任し申し訳なかった。まだお囃子の会など文化に関わる方はたくさんいる。参加して頂けるように陰で応援はしたい。文化の興隆こそが住みやすい地域社会を作るのではないかと思う自分としては残念だった。2 月 4 日立川市青少年健全育成研究大会、2 月 5 日立川教育フォーラムに参加。小中学生の報告を聞き子ども達の成長に感動した。生涯学習の立場から子ども達の育成に少しでもお役に立てたらと思う。
- 大橋：西砂小の授業参加に行った。音楽の授業で地域のお囃子を取り入れることを計画していた。地域の文化を授業で取り入れてくれている。
- 小林：ウインターイベントの書初めは子ども達がとても喜んでいて。今も子ども達の書初めを学習館ロビーに展示してくれ、私達メンバーを力づけてくれる。
- 大橋：高齢者の地域デビューでもあり循環できる地域であるとありがたい。
- 能村：きらり春号が 3 月 14 日発行。特集記事を担当し、この地域の畜産業を取材した。学習館探訪は西砂学習館になる。養豚と養鶏は病気に弱いので一般の方は見ることができないので記事の写真提供をして頂いた。竜王戦のお昼ご飯に藤井総太王将が立川産ブランドポーク柔豚のカツ丼を食べたとニュースで見て驚いた。
- 森：西砂パソコン倶楽部では今週エクセル講座を 3 日間行った。無事に終了した。3 月 7 日から 8 日は団体企画型講座でパワーポイント講座を行う。子どもの居場所づくりについて、例えば 8 月に普段活動している書道やコーラスなど道具をあまり使わないサークルに参加させて頂き子どもと大人の交流ができればわざわざ機会をセッティングしないでも良いのかなと思った。委員のお話を聞いて感じた。中規模改修では教室が使用不可になる時期もあり西砂パソコン倶楽部の活動がどうなるか心配。
- 増田：財政を考える会では 1 月 21 日に災害時の水調達用ポンプ設置陳情の件で、防災課長と議員と市民で議論を行った。2 月 10 日は 9 回目の議員と話し合いを行った。昨年から議員の方が財政勉強会に参加するようになった。2 月 12 日議会と行政のトラブルのことの学習会を行う。3 月 19 日環境問題と行政の関わりの学習会を行う。
- 俣本：1 回目の学習館まつり実行委員会を行った。西砂寿教室コーラスが 3 年ぶりに発表会に参加できて嬉しい。
- 田中：中規模改修では色々要望したが対応してくれないことも多かった。カーテンレール

は付けるがカーテンは付けない、新しい看板の設置は無いなどあった。自分ができることで3月目途に新しい看板を作っている。

石川：3月5日西砂学習館消防訓練を行う。

大槁：立川市人権学習事業の映画会「聲の形」をアイムで行った。今までになく若い人達の参加があり好評だった。展示も若い人向けに展示し、人権を知るきっかけになったという良い感想を頂いた。次年度に向けて話し合いを本で行った。

4 その他

○ 次回の地域学習館運営協議会の日程について

※ 次回開催；次回は、3月17日（金）

<配布資料>

- ・〈資料1〉令和4年度 西砂学習館事業予定
- ・〈資料2〉西砂学習館運営協議会 令和4年度地域活性化講座（案）
- ・西砂学習館中規模改修工程表